

広報 えびの

11

広報えびの 11月号
2009.November
No.517
平成21年11月20日発行



●村岡隆明市長就任のごあいさつ [P2 — P3]

●【特集】スポレクみやざき 2009 に学ぶ [P4 — P9]

おもてなしの心

〈表紙写真〉 スポレクみやざき 2009 のターゲット・バードゴルフ競技。
写真は、えびの市から出場した中西良治さん。

広報えびのはホームページでもご覧になれます。
<http://www.city.ebino.lg.jp/>

第11代えびの市長

村岡隆明市長 就任のごあいさつ



このたび、先般のえびの市長選挙におきまして、多くの市民の皆様のご信任を得て、第11代えびの市長として市政の執行に当たることになりました。

この歴史と伝統のあるえびの市に、新たな1ページを加え、活気あるまちとして次代に引き継いでいくため、これからの4年間、市民の皆様とともに考え、ともに行動し、市民の皆様が誇りを持てるえびの市の実現に向けて、薄身の努力を傾ける所存です。

また、本市にとりまして、「行政の信頼回復・正常化」などの重要な課題が山積している時に、その任に当たるとともに、身に余る光栄であるとともに、改めてその責任の重大さを痛感しております。ど

うか市民の皆様におかれましては、今後の市政運営におきまして、絶大なるご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今後は、選挙公約として掲げましたマニフェストの実現を中心に、時代の変化にすばやく対応し、えびのが変わった実感を一刻も早く市民の皆様を感じていただき、市民が「丸」となったまちづくりを推進していきたいと思っております。そのためにも、市議会議員の皆様とも、緊張感を持ちつつも、深い信頼関係を結び、最高議決機関としての権能を十分に発揮していただきたいと思っております。

まず、私たち執行者は、市民の皆様に対してサービスを提供するというだけでなく、市民の皆様と一緒にまちづくりを行っていく姿勢が大切だと思います。

このような職員の意識改革があつてこそ政策立案能力が高まるわけですし、そのためにも私が、職員が自由に発想できるような組織におけるさまざまな壁をなくし、そして自己実現を図ろうとする職員のがんばりを励まし、勇気を与えていくことが大切だと思います。

拡大・成長から成熟・低成長の時代になり、社会の仕組みやルールの改革が求められる時代に、どのように新しい価値を創造していくか。前例踏襲ではなく、新たな分野に

チャレンジする力が求められています。失敗することを恐れるよりも、間違いをしないように消極的になることを恐れないと思えます。

市長の役割、職員の役割、議会の役割、市民の役割を明確にしながら、お互いを尊重し力を合わせていけば、必ずえびの市にすばらしい未来が訪れると確信しています。改革には、多くのエネルギーが必要ですが、今後も初心を忘れず、信念を持って、初志貫徹していきたいと思えます。

「えびので暮らす幸せ」を改めて実感していただけるえびの市の実現に向けて、改めて市民の皆様との協力をお願い申し上げます。市長就任にあたってのごあいさつをお願いとさせていただきます。



PROFILE

近畿大学理工学部卒業後、小林市の印刷会社に勤務。平成11年11月にえびの市議会議員に初当選し、平成21年9月まで3期市議会議員を務める。また、えびの市青年連絡会議議長、えびの青年会議所理事長、加久藤中学校PTA会長、宮崎県立飯野高等学校PTA会長も歴任。昭和37年12月5日生46歳。栗下区在住。

M u r a o k a T a k a a k i



5. 開会式で入場行進から各都府県のプラカードを持ち選手を案内した加久藤中の生徒たち6. 息の合った演奏で開会式を盛り上げてくれた飯野中吹奏楽部の生徒たち7. この一打で決めようとホールを狙う選手8. 豚汁を作る商工会女性部、JA女性部、市婦人連絡協議会の皆さん。選手やスタッフに振る舞われた9. 市内の小・中学生が、全国の選手たちのために作ったのぼり旗10. 大会初日、選手たちは強風に悩まされた11. 2日目に行われた二人組戦。お互いに声をかけ合いながらプレー12. 選手のスコアを集計するスタッフ。ミスは許されないと真剣13. 歓迎レセプションで好評だった地鶏の炭火焼き14. 市内の特産品の販売も行われた15. シャトルボールに入れるクラブの角度で上がるボールの高さを調整

1. 大会前日に行われた歓迎レセプション。選手同士の会話が弾み交流が深まった2. 左右に木が生い茂る難コース。シャトルボールの行方を追う選手3. 思うようなショットが打てずに顔をしかめる選手4. 見事なスイングで1打目を放つ選手



【特集】スポレクみやぎき 2009 に学ぶ

おもてなしの心

第22回全国スポーツレクリエーション祭「スポレクみやぎき 2009」が、平成21年10月17日から20日まで、県内各地で開催されました。えびの市では、18日、19日に永山運動公園でターゲット・バードゴルフ競技が行われました。今号では、その様子をお伝えするとともに、「おもてなしの心」について考えます。

全国スポーツレクリエーション祭は、勝敗だけを競うのではなく、それぞれの年齢や体力に応じたスポーツ・レクリエーション活動を楽しみながら、交流の輪を広げる生涯スポーツの一大祭典です。毎年、全国を巡って開催されています。

えびの市で行われたターゲット・バードゴルフには、全国38都府県から約2000人の選手が出場しました。

17日の夜には、京町の温泉旅館で、歓迎レセプションを開催。村岡隆明市長は「ようこそえびの市にお越しくださいました。滞在中、えびのを満喫してください。今は秋ですが、春、夏、冬のえびのもすばらしいです。ぜひまた、えびの市にお越しください」と歓迎しました。選手の皆さんは、えびの焼酎を飲みながら、交流を深めました。

大会は、初日風が強かったものの、晴天に恵まれた開催。選手の皆さんは、時には真剣な表情で、時には全国の選手と会話をしながらプレーしていました。

全国から来た選手の皆さんは、えびのをどう感じたのでしょうか。お話を伺いました。



帰路につく選手たちを手を振って見送るスタッフ。



千葉県ののぼり旗を作成した真幸小学校6年生の児童たち。

またのお越しを
心からお待ちしております。



県ターゲット・バードゴルフ協会
堀之内千秋 会長
[下浦区長]

全国の選手の皆さんに喜んでもらうとうと、スタッフ全員「おもてなしの心」で臨みました。市内の小・中学生など、多くの方々のご協力のおかげで、ケガや事故もなく、大成功でした。選手の皆さんも、大変喜んでいました。来年は、全日本ターゲット・バードゴルフ大会(全国大会)が、ここえびの市で開催されるので、今回のスポレクでの反省を十分踏まえて、準備を進めていきたいと思っております。

もてなすのは 私たち一人一人です

皆さんの家にお客様が来ますか。快適に過ごしてもらおうと、部屋を片付けたり、お茶を出したりしませんか。そして帰る時には、「気を付けてお帰りください」と声をかけませんか。

スポレクみやぎきでえびのを訪れた選手の皆さんは、私たちにどうはお客様。皆さんには、喜んで帰っていただき、もてなすことができました。いえるかもしれません。しかし、普段、えびの市を訪れた人たちに対してはどうでしょう。

う。何かに困っている人に対して、見て見ぬふりをしていませんか。

「おもてなし」とは、相手を満足、感動させるために、相手の立場を考え、ちよつとした心づかいを積み重ねることといえます。

えびのを訪れた人たちに快適に過ごしてもらい、えびのの魅力を知ってもらうためには、市民一人一人の「おもてなし」にかかっています。

皆さんも今日から始めてみませんか、心のかもった「おもてなし」。

【特集終】

全国から寄せられる 感謝の気持ち

全国の選手たちに特に評判が良かったのぼり旗。これは市内の小・中学生の手作りで、「ようこそえびの市へ」、「がんばれ!○○県」など、子どもたちの選手に対する思いが書かれています。

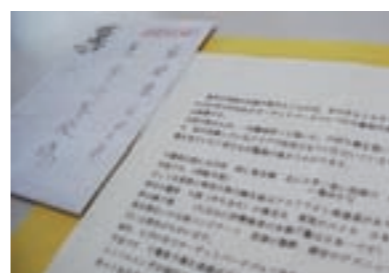
38都府県分100本を、市内の小・中学校で分担して作成しました。

えるものでした。また、飯野中学校に島根県から、加久藤中学校に福岡県と群馬県から手紙が届いています。

真幸小学校6年生の担任の肥田木恵子先生は、「布に絵や文字を書くのは初めてで、大変難しかったです。とても苦労していました。それだけに、皆さんに持って帰ってもらい、さらにはお手紙までいただいて、子どもたちもですが、私たち教師もうれしかったですね」と話します。

大会の期間中、そののぼり旗は選手の控え場前前に立てられました。大会終了後、選手の皆さんは、「こののぼり旗のおかげで元気が出た。地元でも活用したい」と、そののぼり旗を持ち帰りました。

真幸小学校は、山形県、千葉県、大阪府、長崎県を担当。子どもたちは、色や字を工夫して、選手が元気に出るようにと思いを込めて作成しました。すると、大会が終わって数日後、千葉県の選手から手紙が届きました。それは、子どもたちに感謝の気持ちを伝



千葉県の選手から届いた手紙。手紙には、子どもたちに対する感謝の気持ちや千葉県の様子などがつづられていた。

公共福祉部門



増崎京子さん
[中浦区・78歳]

【功績】 点字新聞「やまびこ」を視覚障害者の市民に送り、福祉向上に献身的に尽力。さらに平成21年3月までえびの高原国際専門学校で点字を教えるなど、点字の普及拡大にも努力され、福祉向上に貢献。

【喜びの声】 点字新聞「やまびこ」を215号まで発行してきましたが、自分でもよく続いたなあと思います。視覚障害者の皆さんと接する中で、つくづく私たちの努力の足りなさを実感させられます。この「やまびこ」を毎月楽しみにしている方もいるので、これからも続けていきたいですね。



点字は以外と力のいる作業。強く押さないと読み手に分かりづらいのだそうです。

公共福祉部門



下原サミさん
[南岡松区・82歳]

【功績】 えびの市地域婦人連絡協議会会長を務め、地域婦人会活動の普及向上に貢献。また、明るい選挙推進協議会会長や社会福祉協議会会長も務め、市民の生活擁護と福祉業務に献身的に精励され、福祉向上に貢献。

【喜びの声】 身に余る光栄だと思っています。周りの皆さんのおかげです。詩吟や書道をしているので、これらを通して仲間を増やしていきたいですね。また、地区の高齢者クラブの皆さんとともに、積極的に地域活動に取り組んでいきたいと思っています。



下原さんは、託児ボランティアにも所属し、仲間とともに楽しく子どもの相手をしています。

教育・芸術・体育・文化部門



萩原勝夫さん
[中原田区・83歳]

【功績】 市の文化財の史跡・遺跡の保護保存に尽力。昭和45年からえびの市史談会に参画し、理事・副会長を経て現在も顧問として尽力。えびの市史をはじめ、各種の編集にあたる。また、書道指導により市民の書写力向上にも尽力。

【喜びの声】 身に余る光栄だと思っています。私たち史談会は、貴重な文化財を大切に保護保存していこうと日々活動しています。活動は、新しい発見があったり、会員同士の親ほくが深まったりして、魅力あるものです。これからは若い方々の力も必要ですね。



萩原さんが所属するえびの市史談会が発行する「えびの」。左が創刊号で右が最新号。

地方自治部門



山下順一郎さん
[山内区・77歳]

【功績】 えびの市消防団長や宮崎県消防協会副会長などを務め、消防使命達成のため、消防責務に精励。豊富な消防防災経験を発揮し、消防団員の指導育成にも尽力。さらに消防力の整備強化にも貢献。

【喜びの声】 身に余る光栄だと思っています。これも消防団員や幹部の皆さん、地域の皆さんのおかげです。団長時代、団員には常に自分の身の安全を徹底するように言ってきました。今後も、市民の安心・安全のために、消防団の皆さんの活躍を期待しています。



山下さんは、現在活躍する女性消防団を平成14年4月に発足させました。

地方自治部門



丸田重徳さん
[東川北区・86歳]

【功績】 えびの市の交通安全運動に情熱を傾け、交通安全運動期間中など、天候の良しあしにかかわらず街頭に立ち、交通安全対策向上に尽力。また、地区の区長を歴任するなどして、市政発展にも貢献。

【喜びの声】 これまでやってきた活動が評価されて大変うれしく思います。登校中の立ち番の際には、児童や生徒たちが元気にあいさつしてくれます。それに、いつも元気をもらっています。えびの市内での交通事故が1件でも少なくなることを心から願っています。



丸田さんは、平成元年に交通栄誉章緑十字金章を受章されました。



功績をたたえ

平成21年度えびの市市民表彰として、次の5人の方が表彰されました。皆さん、交通安全や防災、文化や福祉など、さまざまな分野で長年貢献されてきた方々です。今回表彰を受けられた皆さんをご紹介します。

いただき、その中から表彰審議会の審査により、上記5人の方を表彰することに決定したものです。

市民表彰式典は、文化の日の11月3日、市文化センターで行われました。式典では、受章者に村岡隆明市長から賞状と記念品が贈呈されました。また、村岡市長は「皆様方の長年のご功勞に対し、深い敬意と謝意を表しますとともに、ご受章を心からお祝い申し上げます。今後ますますご精進いただき、えびの市政発展になお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます」とあいさつ。溝辺一男市議会議長や中野一則県議会議員、柏田和彦えびの警察署長からも祝辞が送られました。

受章者を代表して、山下順一郎さんが「私たち一同は、本日の栄えある表彰を契機としまして、より一層心をひきしめ、自然豊かな郷土えびのため、微力ではございますが、今後とも努力いたす所存でございます」と謝辞を述べました。

受章された皆さん、おめでとうございます。

えびの市市民表彰制度は、昭和62年度に「市政功労者表彰」としてスタートして以来、さまざまな分野において、えびの市政の振興に寄与された方を表彰してきました。その間、候補者選定にあたりましては、行政主導で進めてきた経緯があります。

今回、市民や学識経験者など12人で構成する表彰審議会の意見などから、この表彰をより市民に身近なものとするために、募集方法を見直し、名称も「市民表彰」に改めました。その結果、多くの候補者の推薦を



えびの市市民表彰を受けられた皆さん。

地デジの準備はお済みですか？

地デジ説明会開催日程

開催日	会場	定員
1月12日(火)	上大河平自治公民館	120人
1月13日(水)	飯野地区公民館	138人
1月14日(木)		
1月15日(金)	飯野地区公民館駅前分館	54人
1月16日(土)	下大河平コミュニティセンター	120人
1月18日(月)	上江地区公民館	60人
1月19日(火)	市文化センター	120人
1月20日(水)	市役所本庁1-3・4会議室	120人
1月21日(木)	栗下区営農研修館	100人
1月22日(金)	市国際交流センター	60人
1月25日(月)	真幸地区体育館集会室	100人
1月26日(火)		
1月27日(水)	中浦自治公民館	100人
1月28日(木)	北岡松自治公民館	100人
1月29日(金)	市役所本庁4階大会議室	120人

【開催時間】午前11時～、午後1時～、午後3時～、午後5時～の1日4回

※説明時間は約1時間を予定しています。

※それぞれの説明会では、可能な範囲で個別の相談にも応じます。

※事前の申込みの必要はありません。

Q2 地デジ放送用アンテナに換える必要は？
A2 地デジ放送はUHFアンテナを使用しますが、VHFアンテナのみを使用している家庭はUHFアンテナに換える必要があります。

Q3 室内アンテナで地デジを受信できるか？
A3 電波の強いところでは、室内用アンテナで受信することも可能です。
Q4 地デジを受信できるかどうか分からない。調べる方法は？
A4 個別調査は、市内の電気店などに依頼すれば調査ができます(有料の可能性有)。地区単位で調査をする場合は、下記にご相談ください。また、地デジに関する相談なども受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

【相談先】総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
☎0570・07・0101
(平日11午前9時～午後9時、土・日・祝日11午前9時～午後6時)
Q5 地デジ対応テレビを購入したのに映らない。どうすれば？
A5 いろいろなケースが想定されます。まず、アンテナは地デジ対応アンテナ(UHF)かどうか、ケーブルが地デジ対応ケーブルかどうかなどを調べてみてください。ま

地デジ化でテレビが変わる

生活の中で最も身近な存在であるテレビ。現在のアナログ放送は、平成23年7月24日で終了し、翌日の平成23年7月25日から地上デジタル放送(以下地デジ)に完全移行します。デジタル化によって、これまでのアナログ放送ではできなかった多様な放送サービスが実現します。

- ① 高画質・高音質放送(音声の劣化やゴースト(ちらつき)がなくなります。)
- ② データ放送が視聴可能に(いつでも天気予報や最新のニュースなど、暮らしに役立つ情報が見られます。)
- ③ 高齢者・障害者へのやさしいサービスが充実(字幕放送や解説放送を楽しむことができ、受信機器によっては音声速度も変えることができます。)
- ④ クイズやアンケートなどの双方向放送が楽しめます(受信機器に電話回線やインターネット回線をつなぐことで、テレビ局との双方向で情報のやりとりを行うことが可能になり、視聴者参加型番組を楽しむことができます。)
- ⑤ 携帯電話で地デジを見るこ

とができます(ワンセグ対応携帯電話で、外出先でも地デジを受信することができ、いつでもどこでも地デジ放送を楽しむことができます。)

地デジの準備を

えびの市では、平成20年7月から地上デジタル放送が開始されています。平成23年7月24日にアナログ放送が終了することから、地デジ対応テレビや地上デジタルチューナーの準備をしておかないと、テレビを見ることができなくなります。地上デジタル放送が受信できるように次のような準備をお願いします。

- ① テレビを新しく買い換える方は、地デジ対応テレビを購入してください。
- ② 今お使いのアナログ対応テレビを引き続き使いたい方は、今使用中のテレビに「地上デジタルチューナー」を取りつけることで地デジ放送を受信することができます。

地デジに関するQ&A

Q1 テレビの右上に「アナログ」と出るのはなぜ？
A1 この「アナログ」のロ

た、アンテナが中継局の方向に向いていないことも考えられます。いずれの調査もテレビを購入した電気店にお問い合わせください。

地デジ説明会を開催します

地デジをご覧いただくために、「総務省テレビ受信者支援センター(愛称「地デジサポート)」では、左上表の日程で説明会・相談会を開催します。実際に機器に触れて体験することができると、自宅で地デジ放送を受信する方法等の

質問にもお答えします。この機会にぜひ、お近くの会場にお越しください。また、説明会以外でも相談や疑問がありましたら、左記の電話で受け付けていますので、お問い合わせください。

- ◎地デジに関する問い合わせ
総務省地デジコールセンター
☎0570・07・0101
- ◎説明会・相談会に関する問い合わせ
総務省宮崎県テレビ受信者支援センター説明会事務局(デジサポート宮崎)
☎0985・60・7346

詐欺や悪質商法に注意

テレビの調査や工事を口実に、料金を不正に請求したり、総務省やテレビ局などの関係機関の職員を名乗って、切り替え手数料などを架空請求したりする悪質な事例が発生しています。地デジ放送への対応で、総務省・テレビ局・その関係機関がお金を請求することは一切ありません。このような請求を受けた時は、総合通信局やお近くの警察署、または消費生活センターへご相談ください。

■総務省九州総合通信局放送課

☎096-326-7882

■えびの警察署

☎0984-33-0110

■都城地方消費生活センター

☎0986-24-0998

市の財政事情については、市民の皆さんに理解していただくために、毎年5月と11月に公表しています。
今回は、平成21年度上半期の予算の執行状況（4月1日から9月30日まで）について公表するものです。

用語説明

■一般会計

福祉や教育、公園や道路建設などの市の基本的な事業を行う会計です。市税や地方交付税などを主な財源としています。

■特別会計

特定の収入を特定の支出に充てて事業を行う会計です。市では、国民健康保険、観光などがこれに該当します。

■地方交付税

地方税などの自主財源だけでは財源が足りない地方自治体に対して国が交付するお金のことです。

■国庫支出金

国から地方自治体に交付される補助金や委託金などのことです。

■市債

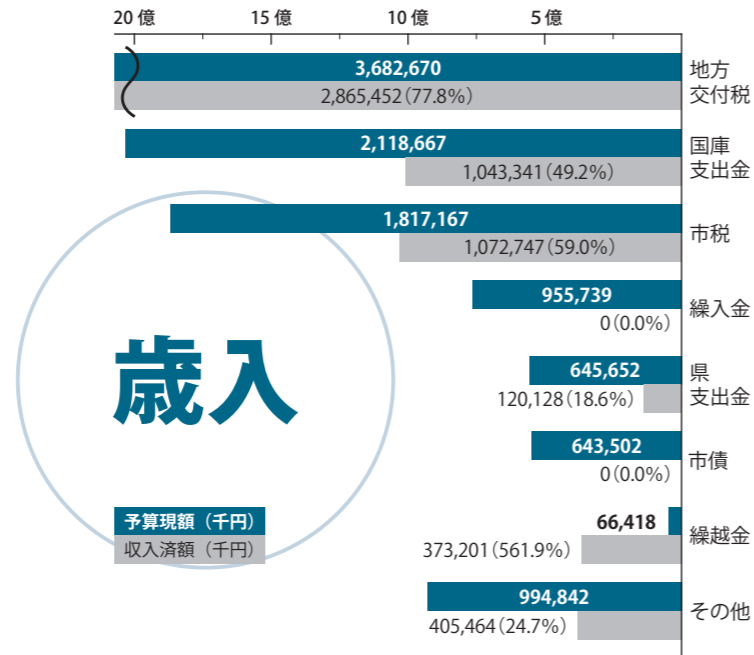
市がさまざまな事業を行うとき、長期にわたって借りるお金のことです。

■公債費

市債を返還するための経費のことです。

■お問い合わせ先

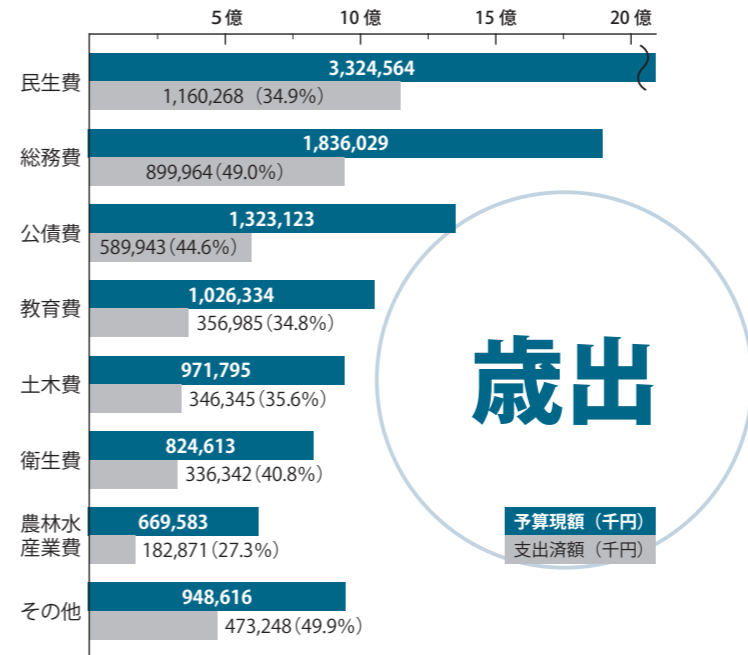
市財政課財政係
☎ 0984 - 35 - 1111（内線 381）



【特別会計の予算執行状況】

[単位：千円]

会計	歳入		歳出	
	予算額	収入済額	予算額	支出済額
国民健康保険特別会計	3,481,208	1,299,844	3,481,208	1,466,021
老人保健特別会計	36,200	9,617	36,200	190
観光特別会計	41,480	20,751	41,480	19,195
介護保険 特別会計	2,645,837	1,310,881	2,645,837	1,071,352
介護サービス事業勘定	18,106	6,829	18,106	7,005
後期高齢者医療特別会計	516,506	61,051	516,506	188,383
合計	6,739,337	2,708,973	6,739,337	2,752,146



※グラフは、それぞれ平成20年度からの繰越予算を含めた額です。
※歳出予算の「その他」は、議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費などです。
※歳入予算の「その他」は、地方譲与税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、諸収入などです。

【市債の状況】

[単位：千円]

区分	現在高	前年同期残高
一般会計	7,818,434	8,523,874
水道事業会計	783,194	862,254
病院事業会計	54,886	60,540

平成21年度のえびの市の一般会計予算額（平成21年9月30日現在）は、歳入・歳出それぞれ102億6,588万7千円（対前年度同期比3.4%増）で、このほかに平成20年度からの予算の繰越が、6億5,877万9千円あり、合計で109億2,465万7千円（対前年度同期比9.1%増）となっています。
この合計額に対して、平成21年9月30日現在の収入済額は、58億8,033万3千円で収入済率53.8%、支出済額は43億4,596万6千円で支出済率39.8%となっています。

予算の執行状況を公表します

水道事業

◎水道業務量

（平成21年4月1日～平成21年9月30日）
給水戸数・・・8,658戸
給水人口・・・19,620人
上半期給水量・・・1,010,483 m³
1日平均給水量・・・5,522 m³
1人1日平均給水量・・・281.4 ㍉
普及率・・・78.5%

◎借入金残高 7億8,319万円

■お問い合わせ先：えびの市水道課経営管理係
☎ 0984 - 35 - 1111（内線 291）

【事業収入に関する事項】

[単位：円]

区分	予算額	執行額		収入率 (%)
		上半期	累計	
水道事業収益	388,300,000	181,731,375	181,731,375	46.8
営業収益	386,002,000	180,701,140	180,701,140	46.8
営業外収益	2,295,000	987,782	987,782	43.0
特別利益	3,000	42,453	42,453	1,415.1

収入の営業収益は、水道料金、手数料、水道加入金など。営業外収益は、預金利息、雑収益など。

【事業費用に関する事項】

[単位：円]

区分	予算額	執行額		執行率 (%)
		上半期	累計	
水道事業費用	329,032,000	131,976,771	131,976,771	40.1
営業費用	297,847,000	120,402,884	120,402,884	40.4
営業外費用	30,682,000	11,571,535	11,571,535	37.7
特別損失	3,000	2,352	2,352	78.4
予備費	500,000	0	0	0.0

支出の営業費用は、浄水費、配水費、給水費、減価償却費など。営業外費用は、企業債の償還利息。

病院事業

◎病院業務量

（平成21年4月1日～平成21年9月30日）
病床数・・・50床
入院患者数・・・延べ6,595人
外来患者数・・・延べ23,792人
入院1日平均・・・36.0人
外来1日平均（土曜含）・・・159.7人
外来1日平均（土曜除）・・・193.4人

◎借入金残高 5,488万円

■お問い合わせ先：えびの市立病院
☎ 0984 - 33 - 1023

【事業収入に関する事項】

[単位：円]

区分	予算額	執行額		収入率 (%)
		上半期	累計	
病院事業収益	986,512,000	512,616,279	512,616,279	52.0
医業収益	953,160,000	480,573,957	480,573,957	50.4
医業外収益	33,351,000	32,042,322	32,042,322	96.1
特別利益	1,000	0	0	0.0

収入の医業収益は、入院収益・外来収益など。医業外収益は、一般会計補助金など。

【事業費用に関する事項】

[単位：円]

区分	予算額	執行額		執行率 (%)
		上半期	累計	
病院事業費用	985,704,000	470,795,123	470,795,123	47.8
医業費用	983,370,000	469,993,759	469,993,759	47.8
医業外費用	2,133,000	801,364	801,364	37.6
特別損失	1,000	0	0	0.0
予備費	200,000	0	0	0.0

支出の医業費用は、給与費、材料代経費等。医業外経費は、企業債の償還利息など。

01

登山の際は注意してください 山岳遭難事故の防止のために



えびの高原の韓国岳。

登山の際は、山岳遭難事故防止のために、以下の点に注意してください。

◎登山の際の注意事項

- ① 余裕のある登山計画と登山計画書の提出
- ② 非常食、水を携行する
- ③ 天候不良、体調不良の際は引き返す勇氣を持つ
- ④ 防寒着・雨具を携行する
- ⑤ 包帯等の救急薬品とライター等の点火器、懐中電灯やカイロを携行する
- ⑥ 携帯電話等の通信手段と情報収集用のラジオ

才を携行する⑦自分の位置を知らせることが出来る防犯ブザーや笛、鈴等を携行する⑧一人で山に入らない⑨体力が無い人は列の中間におき、遅れさせないようにし、定期的に人員を確認する

◎道に迷った場合

- ① 元の場所まで引き返し、ルートを確認する
- ② 夜になったらむやみに動かず、夜明けを待つ
- ③ ヘリコプターが飛んでいるのを確認したら、目立

つものを振るか発煙筒等で合図する④特に子どもが一人で迷った場合は、積極的に出会った人(他人であっても)に救助を求めさせる

◎事故が発生した場合

- ① あわてずに落ち着いて行動する
- ② 遭難者の負傷程度を確認し、適切な応急措置を講ずる
- ③ 自分たちで無理な救出(下山)を考えず、近くの登山者や最寄りの警察署に連絡して救援を求める

■お問い合わせ先
えびの警察署 ☎ 0984-33-0110

02

宮崎県畜産共進会・宮崎ハープ牛枝肉共進会 共進会で好成績を収めました



共進会で優等5席に輝いた横山雅俊さん。

第55回宮崎県畜産共進会種牛の部が、10月2日、3日に小林家畜市場で、枝肉の部が、10月27日にミヤチク高崎工場で行われました。また、宮崎ハープ牛枝肉共進会が、10月24日にゼンカイミート株式会社(熊本県錦町)で開催され、えびの市からもそれぞれの共進会に出品。すばらしい成績を収めました。

◎第55回宮崎県畜産共進会

- 【第1部肉用牛種牛部門(第2類)】◎優等5席 横山雅俊◎式等賞 坂元幸保
- 【第2部乳用種牛(第6類)】◎1等1席 前原和明
- 【第3部種馬の部(第1類)】◎優等2席 東脇正
- 【第4部肉牛枝肉の部】◎壹等賞 松下啓紀◎優等8席 有留あや子◎式等賞 橋口誠也
- 【第5部肉豚枝肉部門】◎壹等賞 稲泉元司◎式等賞 山口孝志

◎宮崎ハープ牛枝肉共進会

- 【宮崎ハープ牛部門】◎優等賞 後藤廣太郎◎優良賞 岡仲夫
- 【宮崎ハープ牛交雑種部門】◎優秀賞 山下繁一、坊野典義◎優良賞 原屋敷昭二、平岡伸夫

※畜産農家の皆さんへお願い
稲刈り、わら収集も終わり、これからたい肥を田に散布される方もいると思いますが、散布後の悪臭による苦情が寄せられています。たい肥散布後は、できるだけ早く耕起するよう心がけてください。

■お問い合わせ先
市畜産農林課畜産振興室 (内線 227・228)

03

鹿児島県曾於市で第5回環霧島会議を開催 県境を越えた広域連携着々と



郷土芸能発表でえびの市からは水流の田の神舞を披露。

霧島連山を囲む宮崎・鹿児島両県の7市町(えびの市・都城市・小林市・高原町・霧島市・曾於市・湧水町)で構成する環霧島会議の第5回目の会合が、10月22日、曾於市の財部中央公民館で行われました。

午前中は、教育専門部会の設置や役員改選、専門部会からの報告や今後の取組みについて協議が行われました。これまで、環境専門部会、観光専門部会、防災専門部会、

広報専門部会と4つの専門部会で検討を進めてきました。が、今回新たに、教育部門においても広域連携を図っていく必要があるとして、環霧島教育長会議、教育専門部会を設置することになりました。そのほかにも、委員の各首長や議長から活発な意見が出されました。

午後からは、財部きらめきセンターで、環霧島会議構成市町の郷土芸能の発表が行われました。えびの市からは、

水流の田の神舞が披露され、田の神さあの一ノクな語り、会場からは笑いと拍手が贈られました。

環霧島会議第6回目の会合は、平成22年5月に、えびの市で開催される予定となっております。次回開催市の村岡隆明市長が、「皆さんのお越しを心からお待ちしております。えびの市での開催が、ジオパーク認定に向けた決起集会のようになればと考えています」とあいさつしました。

■お問い合わせ先
市企画課計画係 (内線 321・322)

04

考えよう相手の気持ち育てよう思いやりの心 12月4日～10日は人権週間



市では、今年度から人権セミナーにも取り組んでいます。

12月4日から12月10日は人権週間です。

1948年12月10日にパリで開催された第3回国際連合総会で世界人権宣言が採択されました。この日を記念に国際連合は、毎年12月10日を「人権デー」と定め、すべての加盟国に対して人権思想の普及高揚に努めるよう呼びかけたことが始まりで、人権週間が定められました。

◎こんな時は人権擁護委員に
人権が侵害されたり、侵害

されるおそれがある時、いじめ、体罰、土地建物、金銭の貸し借り、その他家庭内の問題などでお困りの方は、お近くの人権擁護委員または宮崎地方支局(支局)へご相談ください。

「えびの市の人権擁護委員」

- 原口陽一さん(杉水地区)
- 市後崎ユキミさん(中原田区)
- 東光鈴枝さん(中上江区)
- 山形茂樹さん(中島区)
- 郡山優子さん(松原区)
- 森

■お問い合わせ先
市総務課人権啓発室 (内線 350)



◎今月の一品
(米粉蒸しパン)

えびのののの つまがももん

「えびのうまいもの」

vol.19



市民手作りの 市民音楽祭

●写真／昨年行われた市民音楽祭。園児から高齢者まで幅広い参加がある。



今年の市民音楽祭	
日時	平成21年12月12日(土) 午後6時30分～
会場	えびの市文化センター ※入場無料
その他	主催＝市民音楽祭実行委員会、 市教育委員会、芸術文化協会

し み ぴ

【材料 (カップ5個分)】

- 米粉・・・・・・・・・・ 100g
- ベーキングパウダー・・・ 小さじ1
- 黒砂糖 (粉)・・・・・・・・ 45g
- 牛乳・・・・・・・・・・・・ 100cc
- サラダオイル・・・・・・・・ 小さじ2
- 甘納豆・・・・・・・・・・・・ 適宜

【作り方】

- 米粉、黒砂糖 (粉)、ベーキングパウダーをよく混ぜる。
- ボールに①の粉類を入れ、牛乳とサラダオイルを加え、よくすり混ぜる。
- ②を型かカップに流し入れ、甘納豆をトッピングする。
- 蒸気の上上がった蒸し器に入れ、強火で10分～12分蒸す。



えびの市食生活改善推進員
秦エミ子さん

recipe

今月紹介するのは、えびの産の米粉を使った「米粉蒸しパン」です。米粉は、米を製粉したもので穀粉ともいわれます。ピーフンなどのめん類や、菓子類などに使われています。米の消費量が減ってきている今日、米粉の普及拡大で米の消費拡大が期待されています。

えびの市でも、米粉を使った料理の普及に取り組みはじめており、米粉を使った料理教室なども行われています。

す。近日中には、えびの産ヒノヒカリの米粉が、市内のスーパリーなどで販売される予定となっています。

今回紹介する米粉蒸しパンは、ほんのり甘くて作り方も簡単。子どものおやつや、お茶菓子にぴったりです。黒砂糖や抹茶などを入れることによつて、違った味を楽しむことができます(写真の右側は抹茶、左側は黒砂糖を使用したもの)。3時のおやつなどに、ぜひお試しください。



「筆をボンと置いてスーっと」。子どもに書道を教える藤元さん。

藤元 義雄さん

識字として始めた書道 夫婦そろって師範に

Yoshio Fujimoto
ふじもと・よしお / 60歳 / 北岡松区 / 農業 / 今年10月に書道の師範(半紙漢字)に認定される / 部落解放同盟宮崎県連合会北岡松支部長。

「書道は、学校を4年しか出ていない私にとつて、とても意義のあることです。子どもたちに、書道を通して部落解放運動について、少しずつでも教えていきたいです」と話すのは、今年の10月に、書道の師範(半紙漢字)に認定された藤元義雄さん

(北岡松区)です。藤元さんは、部落差別を経験。学校にも思うように行けず、文字の読み書きを取り戻そうと、識字の一つとして妻の道子さんとともに書道を14年前に始めました。道子さんも平成19年に師範に認定されており、今回夫婦そろって師

範に。道子さんは「二人でよくがんばったと思います。うれいすね」と喜びます。二人が書道を始めた当時から指導してきたのが、清本兵太郎先生。清本先生は、「これまでお二人は本当に努力されてきました。師範になったことで人に教えることができ

ます。同じ地域の人たちに書道を教えることができるということは、本当に素晴らしいことですね」と話します。書道教室も含めた識字学級は、現在毎月第1第2土曜日に、北岡松教育集会所で行われています。現在は、子ども2人、大人5人が通い、識字、

書道を学んでいます。書道を習う小学6年生は、「うまくなっていくのが分かって楽しいです。先生もやさしいです」と話します。部落解放運動にも努力されている藤元さんご夫婦。これからの二人の活躍を心から期待しています。

がんばる!自治会

世代を越えた行事を 継続させて

(南原自治公民館)



子供育成会の十五夜祭。子供たちの元気な姿に元気をもらいます。

◎自公連だより

※自公連・・・「自治公民館連絡協議会」の略称。

南原地区は、八幡ヶ丘の南西に位置し、大迫原、妙見原、霧島の三つの中山間地を有する範囲の広い自治区です。特筆することは区の公民館とは別に、妙見、霧島にそれぞれの公民館を所有し、地域の行事の拠点として活用されています。区で助成する組織は、高齢者クラブ、婦人部、子供育成会があります。子供育成会

三つの支部があり、十五夜祭、キャンプ、焼肉会等趣向を凝らした行事が行われています。また、高齢者クラブや婦人部でも、地域活性化のためにさまざまな活動に取り組んでいます。区の行事は、「いきいき地域支えあい事業」、「敬老会」、「体育行事」等があります。長年実施してきた地域対抗(九地域)ソフトボール大会やミニバレー大会は、高齢化等により、現在はミニバレー大会のみの実施となっています。しかしそのミニバレー大会も、参加チームが減少し、実施が危ぶまれています。今後は、体育班長会議等の意見を参考にしながら、世代を越えた行事が継続できればと考えています。

これからもふれあいを大切にし、皆様とともに進んでいければと思っています。



南原自治公民館長 武田隆男さん



ジオパーク発掘調査隊

その2

【霧島山の生い立ち②】

霧島山は活火山で、新燃岳や御鉢では、現在でも噴気が観測されます。火山のエネルギーや、火山活動に伴う迫力のある躍動的な地形の変化や地熱は、滝や温泉、湧水など、私たちの地域に豊かな恵みをもたらしています。

火山の噴出物でできた土壌には、霧島山固有の植物であるノカイドウ(国の天然記念物)や、初夏に山肌を色鮮やかに染めるミヤマキリシマなどが自生しており、霧島の自然は国立公園に指定されるほど貴重なものです。また、日本神話で、天界の最高神天照大神の孫の瓊瓊杵尊が降り立った場所とされる高千穂峰があります。

このように、美しく豊かな自然や、歴史のある霧島山は、清く豊かな水や温泉ばかりではなく、私たちに癒やしの空間も与えてくれているのです。

霧島ジオパークロゴマーク決定



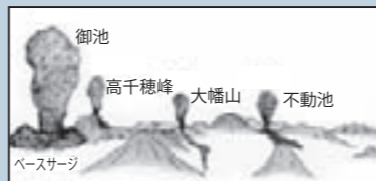
霧島ジオパーク推進連絡協議会では、霧島ジオパークのロゴマークを募集しました。全国から229点の応募があり、審査の結果、鹿児島市の平山陽一さんの作品に決定しました。このロゴマークは、霧島山をイメージした山と火口湖をデザイン化、7本のラインは構成する7市町を表しています。

歴史時代以降

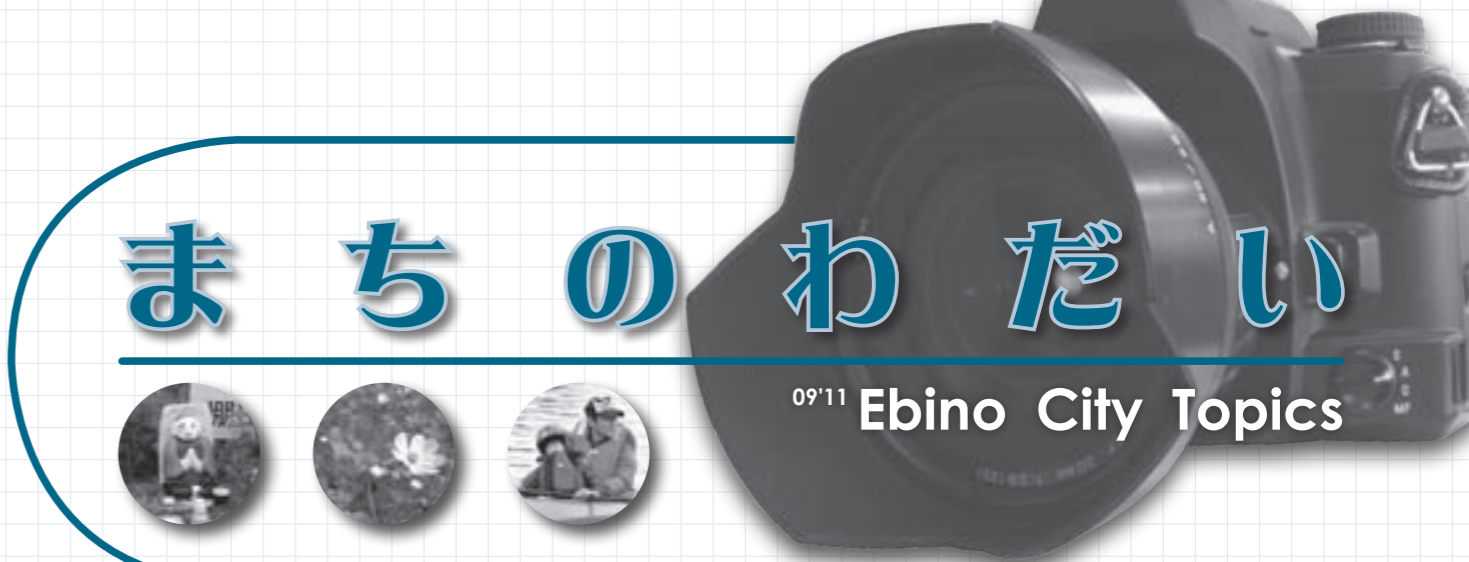


約1,500年前に活動を開始した御鉢が成長しました。新燃岳が再び噴火を始め、えびの高原では硫黄山ができました。

7,000年前～歴史時代

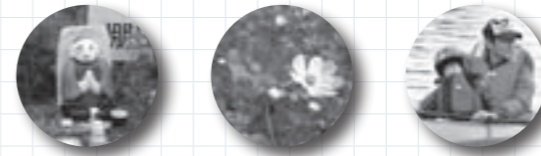


高千穂峰が完成した後、4,200年前に御池が大噴火しました。また、大幡山や不動池も溶岩を流す活動がありました。



まちのわだい

09'11 Ebino City Topics



真幸棚田で稲刈り交流会

棚田百選に選ばれている真幸棚田で、10月25日、稲刈り交流会が行われました。これには、市内外から親子連れなど約60人が参加しました。

この日刈ったのは、熊本藤雄さん(西内堅区)が所有する棚田10町。参加者は、田の神さまに豊作の感謝を込めて神事を行った後、地元農家の手ほどきを受けながら稲を刈りました。刈った稲は竹竿にかけ干しにしました。

稲刈りの後には、みんなで棚田を一望できる高台で昼食。えびの産の農産物などが当たる抽選会も行われました。



親子で稲刈りを楽しむ参加者。

防犯活動に尽力

10月15日、宮崎市で開催された「平成21年度安全で安心なまちづくり県民のつどい」の場で、防犯功労者として、大城戸留夫さん(京町区)と拂山輝男さん(南原田区)が表彰されました。お二人とも、青色回転灯付きパトロールカーで市内を隈なくパトロールするなど、日々、防犯活動に尽力されています。その功績に対して表彰されたものです。

大城戸さんは、「大変うれいしです。これも多くの方々のご協力によるものです。今後も地域の安全のためにがんばっていききたいですね」と話していました。



市長に受賞の報告をする大城戸さん(中央)と拂山さん(右)。

防災訓練を実施

上大河平区では、10月25日、防災機材を活用した防災(消火)訓練を、大河平小学校の校庭で行いました。これには、同区民や地元消防団など約130人が参加しました。

この日は、可搬ポンプを使って、器具の取扱いや放水の訓練を実施。女性も積極的に参加し、いざという時にだれでも機材を使用できるように訓練しました。

同区の自主防災会会長の木下幸夫区長は、「今回の訓練を通じ、参加者の意見を取り入れながら、今後の対策に生かしていきたいです」と話していました。



可搬ポンプを使った訓練に参加する上大河平区民。

楽しい演芸に元気もらう

「ひとりだけの金婚式」が、10月21日、えびの市社会福祉協議会で行われました。これは、結婚して50年経つまでに、一人身になられた方に対し、これまでの苦勞をねぎらうとともに、これから元気な生活していただきたいと行われているもので、今年で16回目。38人が参加しました。

式では、園児やボランティアによる演芸が披露されました。参加した宮崎みどりさん(西上江区)は「こんなに祝っていただけ、ありがたいです。腹の底から笑うことができました。とても楽しかったです」と話していました。



ユニークな演芸に参加者も大笑いしていました。

カヌー体験や熱気球も

秋季えびの観光祭が、10月25日、グリーンパークえびので行われました。これには、県内外から約5,000人が訪れました。

観光祭では、フリーマーケットや物産展、カヌー体験教室や熱気球体験搭乗など、多数の催しが行われました。また、会場西側に設置されたステージやその周辺では、ダンスの披露や園児の鼓笛隊演奏も披露されました。

カヌー体験教室に参加した方は、「初めてカヌーに乗りましたが、とてもおもしろくて気持ちよかったです。子どもたちも喜んでいました」と話していました。



カヌーを楽しむ子どもたち。

児童が川にウナギを放流

10月23日、上江小学校の4年生が池島川に、加久藤小学校の4年生が川内川にウナギを放流しました。これは、平成21年度河川流域振興活動事業の一環として、児童に川に親しんでもらおうと行われたもので、あわせて河川のごみ拾いも行いました。

上江小学校の児童7人は、川内川上流漁業協同組合会員の手ほどきを受け、ウナギ200尾を放流。前原隆人くんは「初めてウナギを触りました。元気に大きく育ってほしいです」と話していました。9月30日には、真幸小学校4年生も同様の活動を行いました。

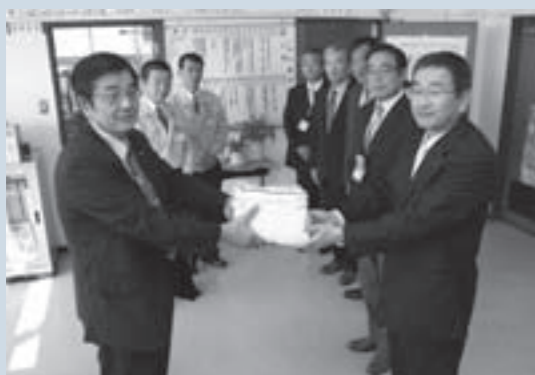


ウナギを放流する上江小学校の児童たち。

生徒たちの交通安全に

J A えびの市が、10月28日、来年中学1年生になる児童や、中学生で反射タスキを紛失したり破損したりした生徒に、反射タスキ400本を贈呈しました。これは、J A 共済の福祉事業の一環で、えびのの宝である子どもたちの交通安全のために役立ててほしいと贈られたものです。

飯野中学校の鬼丸修校長は、「まことに待った保護者の方もいます。生徒たちが反射タスキを付けるようになり、ドライバーからも『安心して運転できます』というお言葉をいただきました。ありがとうございます」と話していました。



反射タスキを贈るJ A えびの市小吹敏博専務理事(左)。

information

お知らせ コーナー

・採用試験・

平成 22 年自衛隊生徒を募集します

自衛隊宮崎地方協力本部では、下記のとおり、平成 22 年自衛隊生徒を募集しています。
【受付期間】平成 22 年 1 月 8 日（金）まで
【採用予定数】陸上自衛隊約 250 人
【応募資格】日本国籍を有し、平成 22 年 4 月 1 日現在、15 歳以上 17 歳未満（平成 5 年 4 月 2 日から平成 7 年 4 月 1 日までに生まれた方）の男子で、中学校卒業または中等教育学校の前期課程修了者（平成 22 年 3 月に中学校卒業または中等教育学校の前期課程修了見込みの方を含む）
【試験期日】第 1 次試験＝平成 22 年 1 月 23 日（土）、第 2 次試験＝平成 22 年 2 月 6 日（土）～9 日（火）
【試験種目】第 1 次試験＝国語、社会、数学、理科、英語、（択一式）、作文（500 字程度）、第 2 次試験＝口述試験（個別面接）、身体検査および適性検査
 ☎ 自衛隊宮崎地方協力本部 小林地域事務所
 ☎ 0984 - 22 - 5254

・募 集・

独身社会人の皆さんに 出会いの場を提供

えびの市次世代を支援する会では、25 歳以上の独身社会人

を対象として、出会いの場を提供し、えびの市の次世代を担う若者への支援を行うため、クリスマスナイトパーティーを開催します。軽食やお茶をとりながら、交流を深めてもらうものです。多くの参加をお待ちしております。

【開催日時】平成 21 年 12 月 13 日（日）午後 6 時受付開始
【会場】グリーンパークえびの
【定員】男性（市内在住者）、女性ともに 20 人
【参加料】男性 1,500 円、女性 1,000 円
 ※申込み方法など詳しいことは、市福祉事務所子育て支援係にお問い合わせください。

☎ 市福祉事務所子育て支援係（内線 269）

手づくりのしめ縄で 新年を迎えませんか

市歴史民俗資料館では、下記のとおり「しめ縄づくり体験教室」を開催します。来年のお正月は、手づくりのしめ縄で玄関を飾ってみませんか。

【開催日時】平成 21 年 12 月 19 日（土）午後 1 時～午後 3 時
【会場】市民図書館学習室
【定員】20 人（※ 10 人に満たない場合は取りやめることがあります。申込者多数の場合は抽選になります）

【参加料】100 円（保険料）
【講師】福元俊夫さん（中内堅区）
【募集期間】平成 21 年 12 月 4 日（金）～12 月 14 日（月）
【申込方法】電話で市歴史民俗資料館に申し込んでください。

☎ 市歴史民俗資料館
 ☎ 0984 - 35 - 3144

高齢者の雇用就業に つなげるために

（社）宮崎県シルバー人材センター連合会では、高齢者の雇

用就業につなげるために、下記のとおり、ビジネスパソコン講習の受講者を募集します。

【対象】県内在住の求職者で、おおむね 60 歳代前半層の方
【募集人員】20 人（申込者多数の場合は抽選になります）

【会場】市文化センター
【講習期間】平成 22 年 1 月 13 日（水）～1 月 26 日（火）
【申込締切】平成 21 年 12 月 25 日（金）

【申込方法】えびの市シルバー人材センター、市文化センターに用意してある受講申込書に必要事項を記入の上、（社）宮崎県シルバー人材センター連合会（〒880 - 0867 宮崎市瀬頭 2 - 6 - 14、FAX0985 - 31 - 3776）に FAX または郵送でお送りください。

☎（社）宮崎県シルバー人材センター連合会
 ☎ 0985 - 31 - 3775

・お知らせ・

第 3 回福岡・宮崎交流懇談会 開催のお知らせ

第 3 回福岡・宮崎交流懇談会が下記のとおり開催され、その中で講演会が行われます。県際地域の首長の貴重な意見を聞くことができますので、ぜひご参加ください。

【開催日時】平成 21 年 11 月 28 日（土）午前 8 時 30 分～午前 11 時

【会場】文化センター
 ◎基調講演（午前 8 時 30 分～午前 9 時 15 分）

【講師】（社）東三河地域研究センター常務理事 戸田敏行氏
 ◎パネルディスカッション（午前 9 時 20 分～午前 10 時 50 分）

【コーディネーター】九州経済フォーラム会長、九州旅客鉄道（株）代表取締役会長 石原進

氏
【パネリスト】えびの市長村岡隆明氏、鹿児島県伊佐市長隈元新氏、熊本県人吉市長田中信孝氏、鹿児島県湧水町長米満重満氏

【入場料】1,000 円
 ☎ 市企画課計画係（内線 321・322）

苗木を配布しますので 地域でご活用ください

春期に実施いたしました「緑の募金」について、市民の皆様には格段のご理解とご協力をいただきありがとうございました。この「緑の募金」をもとに、自治公民館単位で公共の利用を目的とした、公民館や公園等の緑化、地区緑化行事を行う場合に緑化木（苗木）を配布いたします。配布を希望する場合は、区長を通じて平成 21 年 12 月 25 日（金）までに申請をお願いいたします。

なお、樹種・本数に制限がありますので、調整させていただきます。

苗木の配布は 1 月中旬に行う予定です。

☎ 市畜産農林課林務係（内線 229）

・相 談・

相続・遺言・離婚・任意後見制度等の相談に応じます

宮崎地方法務局所属の都城公証人役場では、人権週間（12 月 4 日～10 日）の期間中、相続・遺言・離婚・任意後見制度等、公正証書作成に関する無料相談に応じます。

【相談期間】平成 21 年 12 月 4 日（金）～12 月 10 日（木）の午前 9 時～午後 5 時（土・日を除く）

【会場】都城公証役場（都城市前田町 15 街区 10 - 1）
 ※相談者のプライバシー確保（公証人には守秘義務があります）の関係から、予約制となっています。ご利用の場合は、あらかじめ、相談の日時、氏名等を都城公証役場に電話でご連絡ください。

☎ 都城公証役場

☎ 0986 - 22 - 1804

年金等に関する 出張相談を行います

都城社会保険事務所では、年金等に関する出張相談を行っています。平成 22 年 1 月から 3 月までの相談日程は下記のとおりです。お気軽にご相談ください。

【相談日時】平成 22 年 1 月 13 日（水）、2 月 10 日（水）、3 月 10 日（水）の午前 10 時～午後 3 時

【会場】市役所本庁 1 階 1 - 1 会議室

【持参するもの】印鑑、年金手帳、年金証書、ねんきん定期便・特別便など（代理の場合は、委任状、身分証明書も必要）

※日程が変更になる場合もありますので、宮崎社会保険事務局ホームページ（アドレス：<http://www.sia.go.jp/~miyazaki/>）でご確認ください。

☎ 都城社会保険事務所

☎ 0986 - 23 - 2571

119 だより

急激な温度変化に気をつけて

11 月になり、朝夕が冷え込むようになり、体調管理が難しくなってきました。

毎年、冬になりますと高齢者の救急車の利用が急に増加します。夜半から朝方のトイレの使用など、急激な温度変化に身体が対応できにくくなるようです。寒い場所へ移動する際は、防寒や暖房に十分ご注意ください。

また、寒さに伴い、暖房器具の使用回数、使用時間も増えてくると同時に、火災も起こりやすくなります。火気の取扱い、後始末に十分ご注意ください。

10 月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	1 件	年計	16 件
	救急	72 件	年計	608 件

■えびの消防署 ☎ 0984 - 33 - 6119

110 だより

夕暮れ時の早めの点灯・ピカピカ運動

宮崎県内の交通事故発生状況は、10 月末現在、死者数が 55 人（前年比 +19 人）と大幅に増加しています。死亡事故増加率でも全国ワースト第 2 位という厳しい状況にあり、負傷者数も 1 万人を超えています。えびの市内では、死亡事故の発生はないものの、人身事故が前年より大幅に増加し、一歩間違えば死亡事故というような交通事故が発生しています。

年末に向け、さらに交通事故が増加し、特に夜間の重大事故発生が懸念されますので、次の事項を励行し、交通事故の加害者、被害者にならないよう十分注意してください。

車等の運転者の方＝①夕方薄暗くなったら早めにライトを点灯する②夜間、前車・対向車がない場合はライトを上向きにする
歩行者・自転車乗りの方＝①なるべく明るい服装を心がける②反射タスキ等の反射材を着用する

10 月の交通事故 発生状況	人身	10 件	年計	87 件
	物件	33 件	年計	242 件

■えびの警察署 ☎ 0984 - 33 - 0110

心の一首一句

短歌

千日紅束ね吊せばカラカラと
風に揺れいる灯火のごと

下浦区 亀澤尚子

深まりゆく秋の紅葉の中で、夏から霜降り期まで紅色の花が永く保つ千日紅を束ね吊してそよ吹く風に揺れるのを見て、まるで秋の夜のともしびのごとく感じ、終りゆく花の命を思うのである。作者は小さな草花を慈しむ心根のやさしい人であり、詩情のあふれた感性豊かな短歌である。
(評 竹下妙子)

俳句

人の死と向き合う足袋を穿きにけり
京町区 阿野ふみお

住職という、言わば人の死と向き合う仕事にご縁を頂いて久しい。これまで、どれだけの人のお役に立ってきたのだろうと考えると、忸怩たる思いである。一年前の病氣をご縁として、人生観の変化を感じながらの毎日である。
俳句では、十一月から一月までを冬とし、「足袋」がその冬の季語になります。
(自註)

詩

息吹

上浦区 玉村キクエ

今ここに	人に対する	老いに対する	幼子に対する	未来に対する
・	人たるをなす目覚めの息吹が	安住の息吹が	生と未来の息吹が	希望の息吹が
・				
今ここに				
・				
・				
着実に				
・				
・				
・				

あなたもつくってみませんか。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

(俳句) 阿野文雄さん ☎ 0984 - 37 - 1653

(詩) ポエム同好会 (市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528 まで。

ありますが、好きだと言える一冊が。

おすすめの 一冊



『だれでもできる
ベランダで野菜づくり』

麻生健 / 著
(家の光協会)

広い場所がなくても、土の地面がなくても、野菜は作れます。プランターを置いて野菜用の土を入れるだけで、菜園のでき上がり。この本では、すぐに食べられるスピード野菜や、たっぷり収穫できるすずなり野菜、暑さや寒さに強い野菜など、種類別に掲載されています。また、収穫までの手順が写真付きで分かりやすく説明されているので、野菜を初めて作ってみたいと考えている方にもおすすめの一冊です。

BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

Editor's

◎編集後記

今月は、スポレクみやぎ2009を特集しました。全国から選手がえびのに集まり、熱戦が繰り広げられた2日間。その舞台裏では多くの方々の光る汗がありました。皆さん、選手に気持ちよく帰ってもらえるように、また少しでもえびののPRにつながればと必死でした。私も歓迎レセプションを含めて3日間、選手たちやスタッフを取材。いろんな方のお話を伺うことができました。皆さん、ターゲット・バードゴルフをしたことがありますか？私はまだありません。とてもおもしろそうです。ゴルフが上達しないので、ターゲット・バードゴルフにしようかな。(補元)

◎えびの市の人口

男性 / 10,193人 (-7人)	転入 / 38人
女性 / 11,534人 (-7人)	転出 / 39人
合計 / 21,727人 (-14人)	出生 / 14人

◎えびの市の世帯数

9,150世帯 (-1世帯)	死亡 / 27人
----------------	----------

(平成21年11月1日現在)

今月の
納税

国民健康保険税 第5期

11月30日までに納めましょう。

いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

野菜の摂取目標は1日350g!

意識して食卓に取り入れましょう

■後藤栄養士 (健康保険課)

皆さん、毎日野菜を食べていますか。野菜にはビタミン、ミネラル、食物繊維など、体の調子を整えてくれる大切な栄養素が多く含まれています。さらに、生活習慣病やがんの予防、免疫力の向上、整腸作用などにも効果があります。しかし、肉や魚、あるいは穀物と比べるとエネルギーが低く、脂質もほとんど含まれません。しっかり食べると満腹感が得られるため、過剰なエネルギー摂取を防ぎます。

健康を維持するために必要な野菜摂取量は、成人1日あたり350g。しかし、平均摂取量をみると、290gから300g前後です。特に20代から30代の若い世代で野菜の摂取量が少なくなっています。

野菜350gといっても、なかなか実感しにくいものです。そこで、野菜70g相当の量を1皿分と考え、5皿分で350gとすると分かりやすくなります。1食の中で、5皿食べるのではなく、例えば朝2皿分、昼1皿分、夜2皿分などと分けて食べ、1日3回の食事で合計5皿を目指しましょう。

～野菜をおいしく食べるためのポイント～

①旬の新鮮な野菜を選びましょう

旬の野菜は、素材そのものの旨みや風味がしっかり生きています。ビタミンなどの栄養素も豊富です。

②味付けを工夫しましょう

野菜を毎日たっぷり食べるために、だしの風味を生かしたり、香味野菜やかんきつ類、香辛料などの酸味や香味を利用したりするとよいでしょう。

えびの産の新鮮な野菜をたっぷり食べて、寒い冬を元気に過ごしましょう。

【例】1皿分の目安 *重量はあくまでも一例です。



野菜サラダ



具だくさんみそ汁



ひじきの煮物



キュウリの酢の物



ホウレン草のお浸し

*1皿の量は約70gになります。

老朽化した消火器の取扱いについて

平成21年9月15日、16日に大阪府と福岡県で、腐食が進んだ消火器を操作したことにより、消火器が破裂し負傷したと見られる事故が相次いで発生しました。老朽化した消火器を操作することは大変危険です。家庭や地域、学校や職場でも次の事項を確認してください。

①まずは設置してある消火器の点検を

消火器が風雨にさらされる場所や湿潤な場所等に設置されていないか確認してください。また、消火器本体やふたの外観に、さびや腐食が出ていないか、へこみや変形部分がないか、使用期限など、消火器の状態を点検し、腐食が進んでいるものは絶対に使用しないでください。

②廃棄処理は業者に依頼

不用になった消火器については、放射、解体等

の廃棄処理を自分でせず、回収を行っている事業者者に廃棄処理を依頼してください。特に、腐食が進んでいる加圧式の消火器は、容器破裂の危険があるので、速やかに廃棄処理を依頼してください。

③老朽消火器の連絡・相談窓口

◎太陽金属 ☎ 23 - 3135

◎市市民課生活環境係 ☎ 35 - 1111 (内線 285)

なお、悪質な消火器の訪問販売や訪問点検の被害が発生していますので、十分ご注意ください。悪質な業者は、「消防署から来ました」、「一般家庭にも消火器の設置が義務付けられています」などと言ってきます。家庭にも消火器を設置する方が望ましいですが、法律では義務付けられていません。また、消防署の職員が、消火器の販売や点検で家庭を訪問することはありません。

ふるさと散歩

Furusato-sanpo

133

真幸院の三之宮（その1）

■おわびと訂正

広報えびの10月号（No.516）のふるさと散歩「井尻神力坊の供養塔」の記事中で、2段目の左から1行目に「日新公の墓は・・・」、3段目の右から2行目に「日新公の功績を・・・」とありますが、いずれも日新公ではなく、正しくは神力坊でした。ここでおわび申し上げ、訂正させていただきます。

真 幸院において最も古く創建された神社は次の神社です。

- ◎一之宮 香取神社（今西地区）
 - ◎二之宮 加久藤神社（栗下地区）
 - ◎三之宮 高牟礼神社（下浦地区）
- 香取神社が「飯野町郷土史」によると白鳳二年、加久藤神社が「社記」によると白鳳七年、高牟礼神社が「三国名称図会」によると天智七年の創建で、三社は大織冠藤原鎌足の勧請によって創建されたと記されています。
- 真幸院の五社といわれたのが、この三之宮に加えて、白鳥神社と西川北地区の威徳天神宮（菅原神社）です。白鳥神社は性空上人が天徳三年に、威徳天神宮は菅原道



今西地区にある香取神社。

正が天元五年に、京都の北野天満宮を勧請して造られたものです。

一、一之宮 香取大明神社

「三国名称図会」によりますと、今西村にあり、祭神は齋主命とあります。また、社記には、「白鳳七年二月大織冠鎌足公の命にて勧請す、當社は上世よりの敬禮一ならず、二條天皇應保二年、後花園天皇永享二年、並に大般若經一部を御寄進あり、松鈴公（島津義弘公）當邑に移り玉ひし後屢崇敬を加へ、飯野城内に勧請し、怨敵退治の祈願をなし玉ふ。天正中、日向の地方、都て平定せしかば、御祈願成就せりとて、社殿を新健し、神領十三町を付與し、且大般若一

部を寄進せらる、栗野へ移り玉へる時、城内より舊地へ遷宮なり、其後神領は官に收入る、祭祀二月初卯日・九月九日、社司黒木氏、別當愛染院といふ、當邑の宗廟なり」とあります。

香取神社は、永祿七年十一月、島津義弘公が飯野城に入城して以来崇敬され、祭神の齋主命は、平常は田代地区の天之宮にとどまっています。祭祀の時にだけ、神馬で香取神社に迎える習慣があります。これは現在でも、今西地区、田代地区の住民の皆さんによって大切に引き継がれています。これが打植祭です。

（文／市歴史民俗資料館・市田陸奥雄）